



アルイムパク



ト

ゆふ

「ブリコラージュ」は「器用仕事」と訳される。
一般的になじみのない言葉なのでちゃんと書いておくと、
さしあたり手に入れているものを、並べ替えるなりなんなりして
新しい用途を生み出す、というようなことだ。

「ちゃんと」のわりに曖昧で申し訳ないが、野球好きの諸賢に
おかれては、「野村再生工場」をイメージされたい。他球団で
戦力外になった選手を獲得し、中継ぎや代打要員として蘇らせる、
あれである。もっと簡単にたとえば、本棚に入りきらない本を
横にしたりサイズを統一せずに並べ替えるなどして収める、あれで
ある。この方が例示としていいか。前言撤回。申し訳ない。

「影響を与える」にはいくつかの意味合いがあって、生き方の指針に
なる、であったり、無人島に持っていきたいほど、であったり、履歴書に
書く、であったりする。学生に推薦する、という場合もあるだろう。

私の場合は「考え方を変えた」というか「なんだか言葉にならなかった
やり方みたいなものに形を与えられた」に近い。

私がこの本に出会ったのは大学院生時代で、院生などというものは
優秀な人材を除いては実態と未来の知れない連中なわけだから、
時に悲壮感や絶望感、閉塞感に打ちひしがれる。打ちひしがれたことの
ない人はいずれ「報道ステーション」にコメンテーターとして呼ばれるだろう。

話を戻すと、そんな時分に出会った本なものだから、論文執筆中に
日本語でどうにもならん場合に外国語のニュアンスで考えてみたり、
いつもこぼしそうになる学食の味噌汁の置き位置を変えてみたり、
実際にした／しないにかかわらず、「ちょっと並べ替えたり、
組み合わせさせてみたりする」という考え方を手に入れたのは、非常に
大きかった。「ブリコラージュ」をうたう本や論客はいっぱいいるが、
私は南泰裕さんに教わった。ちなみにこの本には、行き詰まったときには
部屋の掃除をするといい、とも書いてある。真理だと思う。